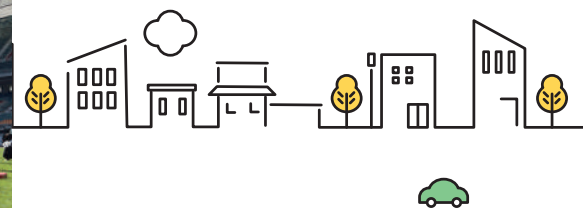




Júbilo IWATA 2022 HOMETOWN REPORT

2022シーズン ホームタウン活動報告
(2022年2月1日～2023年1月31日)



はじめに

ジュビロ磐田は、皆様に〈より親しまれ愛されるクラブ〉を目指し、磐田市を中心に静岡県西部地域の課題や地域振興に対して様々な活動に取り組んでいます。多くのステークホルダーの皆様と連携しながら、サッカーやスポーツの普及はもちろん、地域イベントへの参加や子どもたちとのふれあいなどを通じて、より皆様の身近にジュビロ磐田がある生活を目指します。

【ジュビロ磐田のホームタウン活動方針】

①健康・スポーツの普及、振興

- 誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくり

②地域課題への取り組み

- スポーツを通じたインクルーシブな社会づくり
- 郷土愛をはぐくみ地元を誇れる取り組み

③地域振興への取り組み

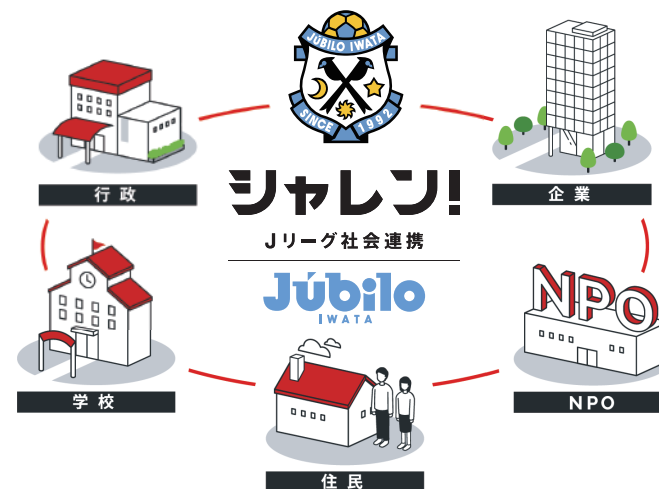
- 活気ある静岡県西部の街づくり



Jリーグをつかおう!
シャレン!
Jリーグ社会連携



Jリーグが掲げる「シャレン!」(社会連携活動)に取り組み、「ジュビロを使おう!」を合言葉に地域の課題を地域の皆様と一緒に取り組んできました。今後も人々が心身の健康と生活の楽しみを享受できる街づくりを目指します。



シャレン!(社会連携活動)とは?

社会課題や共通のテーマ(教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など)に、地域の人・企業や団体(営利・非営利問わず)・自治体・学校などとJリーグ・Jクラブが連携して、取り組む活動です。

3者以上の協働者と、共通価値を創る活動を想定しており、これらの社会貢献活動等を通じて、地域社会の持続可能性の確保、関係性の構築と学びの獲得、それぞれのステークホルダーの価値の再発見に繋がるものと考えています。また、Jリーグはシャレン!を通じて、SDGsにも貢献しています。

ジュビロ磐田はシャレンを通じて SDGsに貢献しています。



SDGsとは？

2015年に国際サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。



ソナエル東海とは？

“備えるをたのしもう”東海地区の6つのJクラブがチカラを合わせる「ソナエル東海」を発足。

清水エスパルス、ジュビロ磐田、藤枝MYFC、アスルクラロ沼津、名古屋グランパス、FC岐阜の6つのJクラブは、2020シーズンにJリーグのかけ声のもと、防災をテーマにしたプロジェクトをスタートしました。

今後30年以内の発生確率が80%を超えると言われる南海トラフ地震をはじめとしたあらゆる災害に対して「備えるを、たのしもう。」をコンセプトとし、地域を中心とした多様な連携先と共に、Jクラブの持つ資源を使って頂くことを通じて、災害から命を守り避難生活に備えるための防災意識を高め、そして、具体的な行動の喚起へと繋がって行くことを目指します。

詳しくはこちら





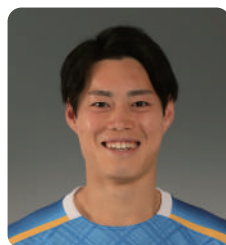
株式会社ジュビロ
代表取締役社長
浜浦幸光

日頃からジュビロ磐田にご支援・ご協力賜りまして、誠にありがとうございます。

昨年12月に代表取締役に就任し、今年はJ1復帰を目指し、ホームタウンの皆様と共に戦ってまいりたいと思います。

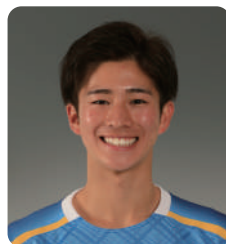
また、ジュビロ磐田がよりホームタウンの皆様に関わり、積極的に社会連携活動(シャレン!)に取り組み、私自身も全面的にサポートしていきます。

会社のパーパスである「夢と感動を共に」をホームタウンの皆様と分かち合えるよう精一杯努めてまいりますので、引き続きのご声援のほど、よろしくお願いいたします。



2023
選手会会長
**MF 14
松本昌也**

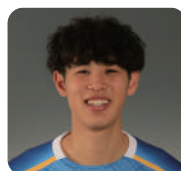
いつもジュビロ磐田への応援ありがとうございます。選手会活動へのご理解・ご協力についても、選手会を代表して併せてお礼申し上げます。昨年は小学校訪問もコロナウイルス流行前のような活動が叶い、少しずつではありますが皆様と交流する機会を増やすことができました。今後も選手会だからこそできる活動を考え、取り組みます。これからもご協力お願いいたします。



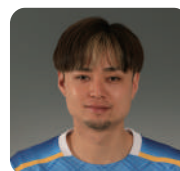
2023
選手会副会長
磐田市出身
アカデミー出身
**MF 38
藤原健介**

ジュビロ磐田へのあたたかい応援、ありがとうございます。育成組織に所属する生徒・選手も、皆様のサポートがあってサッカー生活を送ることができています。サッカー以外の地域貢献活動でも生まれ育ったホームタウン地域に恩返しができるよう、頑張ります。

ホームタウン出身選手 2023シーズン在籍



磐田市出身
**DF 3
森岡 陸**



浜松市出身
**DF 4
松原 后**



浜松市出身
**DF 6
伊藤 慎人**



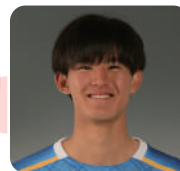
浜松市出身
**MF 10
山田大記**



浜松市出身
**DF 15
鈴木海音**



浜松市出身
**MF 23
山本康裕**



浜松市出身
**FW 42
後藤啓介**



静岡県西部7市1町で行った主なイベント

サッカーやスポーツの普及はもちろん、地域イベントへの参加や子どもたちとの
触れ合いを通じて、より皆様の身近にジュビロ磐田がある生活を目指します。

HAMAMATSU

- ・招待事業
- ・サッカー巡回教室
- ・植樹活動
- ・お花で笑顔に!プロジェクト



お花で笑顔に!プロジェクト

KOSAI

- ・招待事業
- ・サッカー教室



サッカー教室

IWATA

- ・招待事業
- ・サッカー巡回教室
- ・スタジアム同窓会
- ・一斉観戦事業
- ・図書カード贈呈



一斉観戦事業

FUKUROI

- ・招待事業
- ・サッカー巡回教室
- ・ジュビロキッズ配布



サッカー巡回教室

MORI

- ・招待事業
- ・サッカー巡回教室



サッカー巡回教室

KAKEGAWA

- ・招待事業
- ・サッカー巡回教室
- ・掛川運動あそび教室



掛川運動あそび教室

KIKUGAWA

- ・招待事業
- ・サッカー巡回教室
- ・菊川市親子スポーツ教室



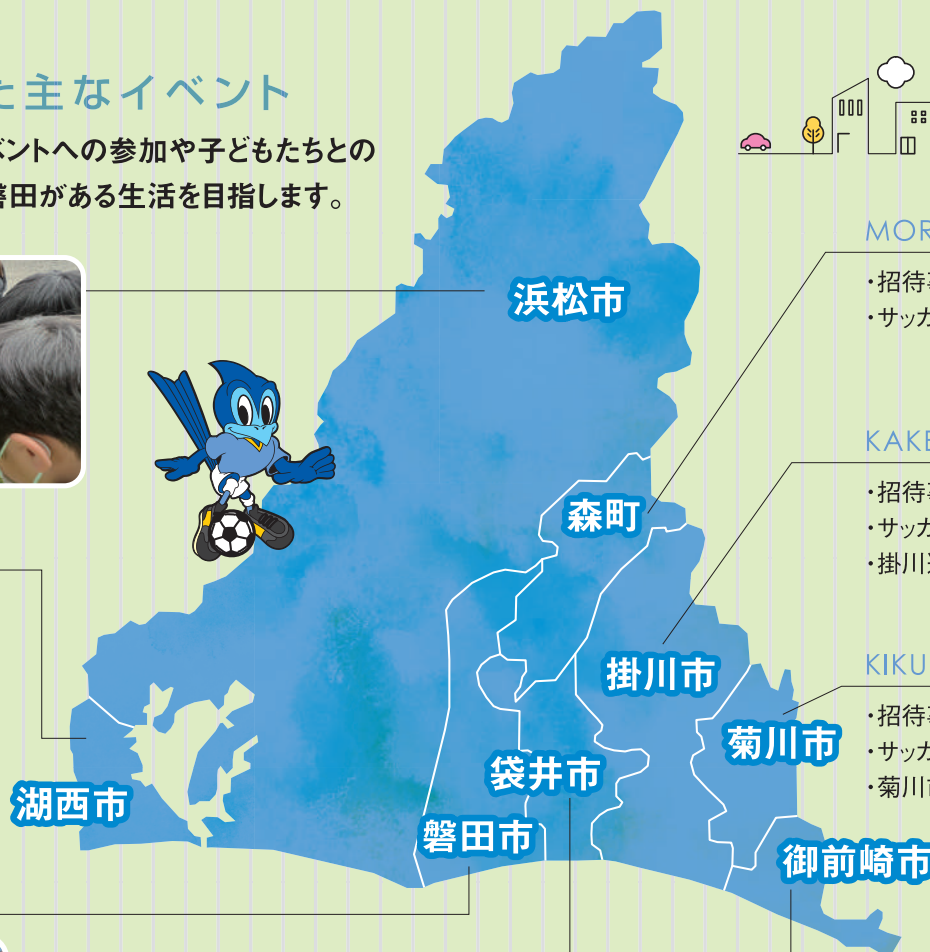
菊川市親子スポーツ教室

OMAEZAKI

- ・招待事業
- ・灯台ワールドサミットin御前崎
開催記念マッチ



灯台ワールドサミットin御前崎 開催記念マッチ



主な活動

- 幼稚園・保育園のサッカー巡回教室・運動あそび教室
- 静岡県サッカー協会、自治体、企業主催のサッカー教室、運動教室
- パラスポーツ(サッカー・運動)教室
- 各種大会の主催、共催、運営

地域のサッカー普及・育成・文化の醸成、子どもたちの健康促進

サッカー巡回教室

磐田市、浜松市、袋井市、掛川市、菊川市、森町の幼稚園、保育園の園児たちを対象に、巡回サッカー教室を行っています。

2022シーズン
サッカー巡回教室 参加人数

磐田市:37園	1,106人
浜松市:39園	1,035人
袋井市:17園	351人
掛川市:13園	436人
菊川市: 8園	245人
森 町: 3園	35人
合 計:117園	3,208人

運動あそび教室

浜松市内の幼稚園・保育園を対象に、運動あそび教室を行っています。各園の希望を聞きながら運動メニューを作成することによって、園児たちに身体を動かすことの大切さを感じてもらい、運動を継続し健康的な生活を送ってもらいたいと考えています。

2022シーズン
運動あそび教室 参加人数

浜松市:41園……………854人

JFAフットボールデー

(一財)静岡県サッカー協会主催のもと、エコパスタジアムにて開催しました。ジュビロ磐田と清水エスパルスが毎年交代でスポーツ教室を開き、今回は100名を超える子どもと、50名以上の保護者の皆様が集まりました。



スポーツを身近に、より健康で豊かに

スポーツを通じて、地域の皆様とより密接に交流し、健康で豊かな地域づくりを目指しています。

ジュビロ公式チアリーダーズ「Jubies」

「Jubies(ジュビーズ)」は、ジュビロを応援したい!ダンスが大好き!ホームタウンを笑顔でいっぱいにしたい!という女の子たちが、その場にいる人を元気づけ、全員を笑顔にすることを目的してレッスンに励んでいます。人々に「夢と感動」を与えるスポーツの楽しさ、チームワークの大切さを学んでいます。



様々な地域スポーツの推進

Jubiesパフォーマンス披露

三井ショッピングパーク ららぽーと磐田様にて、応援パフォーマンスを披露。



自主事業への協力

(特非)磐田市スポーツ協会の自主事業への協力として、天然芝グラウンド等でスポーツ・健康をテーマとした各種教室の開催をサポートしています。

主な活動

- ジュニアチアダンス教室
- 大人女子サッカー教室



ジュビロヨガクラブ

福田屋内スポーツセンターで、18歳以上の方を対象に「続けることでカラダが変わる」をスローガンとして、ヨガ教室を開催しています。





スポンサー企業による地域貢献へのお手伝い

スポンサー企業と共に、地域の子どもたちのサッカーとの初めての接点や、面白さを体験してもらう機会を提供しています。

2022磐田U-12国際サッカー大会

大会の目的

- ① 青少年育成
- ② 競技力向上
- ③ 地域貢献

7月28日からスポーツ交流の里 ゆめりあにて磐田U-12国際サッカー大会が開催されました。海外チームを招集することはできませんでしたが、県内外8チームが集まり、熱い試合を繰り広げました。



■ トップリーグ

順位	チーム	試合数	勝利	引き分け	敗戦	得点	失点	ゴール差	勝点
1	磐田	5	4	1	0	12	4	+8	13
2	横浜FC	5	3	2	0	10	6	+4	11
3	清水	5	3	1	1	11	7	+4	10
4	磐城	5	2	2	1	8	9	-1	8
5	山形	5	1	3	1	6	10	-4	6

■ セカンドリーグ

順位	チーム	試合数	勝利	引き分け	敗戦	得点	失点	ゴール差	勝点
1	磐田	5	4	1	0	12	4	+8	13
2	横浜FC	5	3	2	0	10	6	+4	11
3	清水	5	3	1	1	11	7	+4	10
4	磐城	5	2	2	1	8	9	-1	8
5	山形	5	1	3	1	6	10	-4	6

サーラカップ

静岡県・愛知県・岐阜県・神奈川県での予選を勝ち上がった16チームによるトーナメント戦をヤマハスタジアムにて開催。過去のサーラカップ出場選手の中には、現在プロ選手として活躍している方もいます。



サーラキッズ

栄養セミナーやフィジカルコンディショニング講座、サッカー教室の3つのプログラムを実施するなど、総合的な育成プログラムとしてサッカーの普及に努めています。



明治安田生命保険相互会社 浜松支社サッカー教室

明治安田生命保険(相)様による「地域社会への貢献」として、全国にある支社のホームタウン地域のお子様を対象としたサッカー教室を開催しています。



ユニバーサルスポーツ

知的障がい者サッカークラス『ジュビロ磐田ルナソルジャス』開講

「高校卒業後も仲間たちとサッカーを楽しんでもらいたい」という想いから、(一社)アレスグートと協働し、開講。2023年1月より、本格的に活動がスタートしています。

ユニバーサルスポーツ
(サッカー・運動)教室

ジュビロ磐田では、スポーツを通してインクルーシブな社会の実現を目指しています。障がいの有無にかかわらず、だれもが分け隔てなくスポーツを楽しめるようにユニバーサルスポーツ(サッカー・運動)教室を行っています。

ジュビロ特別支援学校
チャレンジドフレンドリーマッチ

ジュビロ特別支援学校 チャレンジドカップ

(特非)静岡FIDサッカー連盟が主催する、サッカー部のある県西部7校の特別支援学校が参加する大会で、ジュビロ磐田は大会運営のサポートをしています。



2022シーズンの優勝校

- 第1回:袋井特別支援学校 磐田見付分校A
- 第2回:浜松特別支援学校 城北分校
- 第3回:袋井特別支援学校 磐田見付分校A

ジュビロIDカップ

サーラグリーンフィールドにて開催。県内外から20チームが集まり、しのぎを削りました。



パラフットボール体験会

ガネーシャ静岡AFC(アンブティサッカー)・FCコレチーボ静岡(ブラインドサッカー)の協力により、2種目の体験会を開催しました。

LIGA.i 浜松
ブラインドサッカートップリーグ2022

八田直樹選手が、(特非)日本ブラインドサッカー協会が新設した「LIGA.i ブラインドサッカートップリーグ2022」の浜松会場開催試合における応援アンバサダーに就任しました。



女子サッカー

静岡SSUボニータ パートナーシップ契約締結

女子サッカーを通じた地域サッカー振興のため、磐田市を中心に活動する静岡SSUボニータ((一社)静岡スポーツユニテッド)とパートナーシップ契約を結びました。



2008年、磐田市を拠点に発足。2010年、日本女子サッカーリーグに参入し2023シーズンはブレナスなでこリーグ1部に所属。サッカーで人が動き、繋がり、感動できるような活動に取り組みます。クラブに関わる全ての人が幸せになることを願い、地域社会の活性化に貢献したいという強い想いがあります。また、スベクタルなサッカーで、強く魅力的なチーム創りを進めて、地域のシンボルにふさわしい集団を目指しています。

ジュビロ磐田
レディース 練習会

小学6年生～中学2年生までを対象に、練習会を開催しています。



ジュビロが育てる未来のジュビロ

ジュビロで育った選手が、やがてプロ選手としてJリーグや世界の舞台で活躍すること、サッカー・スポーツを継続し健康に成長すること。
そしてまた、子どもたちが指導者や子を持つ親となったとき、サッカー・スポーツやジュビロを愛する気持ちを、
その次の世代につなげてくれること。それが私たちの願いです。

サッカーの普及

「この地のシンボルとして、夢と感動を共につむぎ 心支える存在でありつづける」というクラブ理念のもと、サッカーの普及を通してジュビロファミリーの輪を広げるとともに、地域のスポーツ文化の醸成に貢献しています。

選手・指導者育成への協力

ジュビロ磐田では、ホームタウンエリア全体のサッカー普及・育成を目指し、地域の指導者の皆さんと協力して、トレセン活動を行っています。
指導者講習会やサッカークリニックを開催し、ジュビロ磐田のもつノウハウを地域に還元し、スポーツを楽しむ環境づくりに努めています。



ジュビロでは、各トレセンの指導に関わっています。

サッカースクール・アカデミーU-15出身選手(2023シーズン在籍)



3.森岡陸 ジュビロサッカースクールジュビロSS磐田
4.松原后 ジュビロ磐田 U-15
6.伊藤慎人 ジュビロ浜松 Jr.ユース
10.山田大記 ジュビロ浜松SS ジュビロ浜北 Jr.ユース
15.鈴木海音 ジュビロ磐田 U-15
23.山本康裕 ジュビロ浜北 Jr.ユース
38.藤原健介 ジュビロ磐田 U-15
42.後藤啓介 ジュビロ磐田 U-15

※この他にも10名以上のサッカースクール出身選手がJリーガーとして活躍しています

サッカースクール

約40年の歴史をもち、地域サッカーの普及・育成に長年努めてきました。子どもたちにとって、サッカーとの出会いの場所でもあるサッカースクールでは、多くの子どもたちに技術だけでなく、「サッカーを楽しむ気持ちを育むこと」を第一目標に指導をしています。

【スクール生】

キッズ～小学6年生／1,150人
中学1年～3年生／185人



全国大会壮行会

ジュビロ磐田U-18の2022第46回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会 全国大会出場、磐田東高等学校男子サッカー部の全国高等学校総合体育大会出場を記念し、ヤマハスタジアムにて壮行会を実施。



キャリア・デザイン・サポートプログラム Jリーグ版よのなか科

ジュビロ磐田U-13の選手を対象に、人材育成活動における選手教育の取り組みとして実施。全5回に及び、Jリーグがめざすものや関わる職業、自身のキャリアイメージについて考えました。



地元への誇りと愛着の醸成

磐田市主催『磐田市小学生一斉観戦事業』

磐田市が目指す「Jクラブと地域社会が一体となって実現する、スポーツが生活にとけ込み、人々が心身の健康と生活の楽しみを享受することができる町」の取り組みのひとつとして市内全22校の小学5・6年生をヤマハスタジアムへ招待しています。この取り組みは今回で11回目を迎えました。

【目的】①スポーツに関心を持つきっかけになる

②チームへの愛情はもとより、磐田市をふるさととして誇りに想うこと

③将来にわたって郷土を愛する気持ちを育むこと



スタジアム同窓会『meets IWATA』

磐田市小学生一斉観戦事業の開始から10年が経過したことをきっかけに、「ヤマハスタジアムを舞台に多くの若者がふるさと磐田に愛着を深めていただきたい」という想いからスタート。



環境問題への取り組み

新素材CUPの導入

試合開催時の飲料カップとして、環境配慮型素材「LIMEX」を導入。また、スタジアムのクリーンステーションで回収したカップはアップサイクルを行い、新たな価値を与えて再生させることで、温室効果ガス排出量の削減を目指します。



植樹活動

エコパートナーである(株)リサイクルクリーン様ご協力のもと、ヤマハスタジアムでの試合時に空き缶・ペットボトルを回収しました。

2022シーズンは、缶：553kg、ペットボトル：147kgを回収し、8本の苗木を購入することができました。苗木は、(株)リサイクルクリーン様、(株)エフ・シー・シー様、(株)アイジーコンサルティング様のご協力により、12月に浜松市天竜区の山に植樹されました。



国産間伐材製品

サーラグループ様ご協力のもと、国産間伐材を使用した『サーラ・ジュビロ オリジナルうちわ』、『サーラ・ジュビロ オリジナルコースター』、『特製ハガキ』を製作しました。



サーラ・ジュビロコラボ ロス材100%リサイクルゴミ袋

サーラグループ様と共同でロス材100%のリサイクルゴミ袋を製作し、4,200枚を浜松市に寄付しました。浜松市内特定の工場で排出したロス材を県内工場で原料化し、浜松市内の工場へ戻し制作。県内にとどめる製造過程により、運搬時の温室効果ガス削減にも努めています。



お花で笑顔に!プロジェクト

浜松市教育委員会の企業協賛を活用した学校花壇の整備実証実験事業として行われ、協賛企業による花苗の寄付、学校との協働による花壇デザイン、維持管理作業を行います。



ジュビロと自治体による「まちづくり」

ジュビロの伝える力を活用して、交通安全や人権を守る運動などの啓発活動を推進しています。

静岡いわたPR大使就任

磐田市の認知度、イメージ向上および市民の磐田市への愛着や誇りの醸成を目的とした「静岡いわたPR大使」に森岡陸選手が就任しました。



磐田市消防本部 啓発活動PR

磐田市消防本部による防災意識向上の呼びかけがホームゲーム開催時のジュビロ広場にて行われました。



磐田市消防団 応援大使

森岡陸選手が「磐田市消防団応援大使」に就任し、募集ポスターへの出演などを通じて市民への呼びかけを行っています。



交通安全グッズの贈呈

交通安全の一助になるように交通安全グッズを贈呈しています。



交通安全

【のぼり旗】

磐田市・磐田市交通安全連合会と協力し、マスコットキャラクター・ジュビロくんも登場するのぼり旗を製作。自治会や商店会のご協力を得て、交通事故防止のために街の交差点や商店街などに掲出しています。



入学式 交通安全バッグ贈呈

2012年より磐田市と協力して磐田市内の小学校に入学する新1年生に交通安全バッグを贈呈しています。



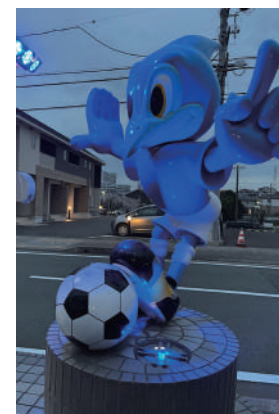
赤い羽根共同募金

(福)静岡県共同募金会が主催し、(福)磐田市社会福祉協議会が実施する赤い羽根共同募金運動の呼びかけを、ホームゲーム開催時のジュビロ広場でも行っています。



自閉症啓発デー

国際連盟の定める「世界自閉症啓発デー(4月2日)」に合わせ、シンボルカラーである『青色』にヤマハスタジアム前のジュビロくん像をライトアップしています。





ソナエル東海



ソナエル東海

SINCE 2020

“備えるをたのしもう。”をコンセプトに、東海地区の6つのJクラブが防災のためにチカラを合わせる「ソナエル東海」が2020年に発足。Jリーグが推進する社会連携活動「シャレン!」の一環として、「防災」をテーマとしたプロジェクトを推進します。

自然災害への取り組み

Jリーグ シャレン!
ヤフー防災模試共同企画

Jリーグ・シャレン!とヤフー・ジャパン(株)が連携し、「ヤフー防災模試」を実施。自然災害による被害を少しでも減らすこと、救える命を増やすことを目的に開催されました。

ソナエルJapan杯 開催

ハザードマップ周知のための
ポスター作成

磐田市が抱えている「ハザードマップの周知が足りていない」という課題に対し、磐田市のハザードマップへ遷移するQRコードを掲載したポスターを磐田市、日本放送協会と作成しました。



愛知大学

～正解のゴールにシュートを決めろ～

愛知大学地域貢献事業団体『トライ☆いわし』がジュビロ広場で防災をテーマにしたイベントを実施しました。



令和4年度台風15号災害支援

静岡県全域に浸水・断水被害をもたらした台風15号。ジュビロ磐田では行政・パートナー企業・選手会と協力した飲料水の提供や災害ボランティアを通して一日も早い復旧を支援しました。

飲料水の提供

サーラグループ様ご提供 飲料水500ml×1,440本／提供先：磐田市

(株)伊藤園様ご協力 飲料水500ml×7,200本／提供先：清水エスナパルス

※配送協力(一部): 浜名梱包輸送(株)様

災害ボランティア

体育館が浸水するなど甚大な被害を受けた磐田市立豊岡北小学校の通学路をジュビロ磐田の選手・スタッフら総勢60名以上が堆積した土砂を片付け、土を洗い流す作業を行いました。

磐田東高校
フレンドリーマッチ

コロナウイルスにより、全国大会の機会が失われた磐田東高等学校サッカー部のため、これからもサッカーと共に歩んで欲しいという想いのもと、フレンドリーマッチを開催しました。



地域に寄り添うクラブでありたい

磐田市健幸プロジェクト「ジュビロ飯」

磐田市産の食材を使用した栄養バランスのとれたメニューと運動を合わせて楽しみ、健康で幸せな生活を目指す取り組み。

ジュビロ飯認定基準

- ①1食で主食・主菜・副菜がそろっている
※一皿でまとまっていなくてもOK
- ②ビタミンDを含む食材を1品以上使用する
- ③磐田の地域産物を1品以上使用する
- ④「食事は野菜から食べ始めること」の情報提供をする
- ⑤運動に関する情報提供をする



ジュビロフードドライブ

ホームゲーム時に実施した「ジュビロフードドライブ」。集められた食品を静岡市葵区の「フードバンクふじのくに」へお届けしました。

アウェイ軽トラ市

ジュビロ磐田のアウェイゲーム時にホームクラブ協力のもと、特産品などを販売することで磐田市をPRしています。



スタジアム販売

静岡県立磐田農業高校の生徒や浜松ジュビアビレッジに所属する子どもたちが、それぞれ自分たちが開発に加わった商品を販売しています。





選手会による活動

One Shizuoka Project

“スポーツの力で静岡をひとつに”を合言葉に県内4つのクラブ(磐田・藤枝・清水・沼津)の選手会が、いつも支えていただいているサポーター、スポンサー、地域の皆様を少しでも支えるため、合同でプロジェクトを立ち上げました。

YouTube

YouTubeチャンネルを開設し、キッズQ&A、育成年代向け講演会等動画コンテンツの配信をしています。

グッズ販売

イベント会場でグッズ販売を行っています。収益は寄付、または活動費に充てられます。

One Shizuoka Project大運動会

6月4日、浜松アリーナにて開催。ベルテックス静岡・静岡SSUボニータ・アザレアセブンの選手も参加し、小学5・6年生の子どもたちがスポーツを楽しみました。



One Shizuoka Project×静岡大学 第2回 SPORTS FESTIVAL ～プロの選手と楽しもう～

12月4日、静岡大学 静岡キャンパスにて開催。サッカー教室、ニュースポーツ体験、eスポーツ体験など様々な角度からスポーツを楽しみました。

One Shizuoka Project 2022 サッカー教室

12月28日、竜洋サッカー場にて開催。ジュビロ磐田、アスルクアロ沼津、静岡SSUボニータ、アザレアセブン、静岡ブルーレヴズの選手らがゲーム形式によるサッカー教室やラグビー体験を行いました。



選手会による活動

小学校訪問

磐田市の小学校を中心に、選手が小学校を訪問しました。コロナウイルスの影響により、オンラインでの交流やビデオメッセージのみとなる学校もありましたが、選手それぞれが子どもたちとの交流を楽しみました。



卒業メッセージ贈呈

磐田市内の小中学校を卒業する児童・生徒へのお祝いの気持ちと、一斉観戦授業をはじめとした日ごろの応援への感謝を込めて、全小中学校へお祝いのメッセージを届けました。



寄付金贈呈

磐田市の教育に役立てて欲しい、と選手会が磐田市教育委員会に寄付しました。

図書カード贈呈

中学生向けの推薦図書を選定し、「選手が選ぶ」中学生のうちに読んでおきたいおすすめ本」と題して磐田市内の中学校に図書カードと合わせて送りました。磐田市内小学校にも図書カードをお送りしています。

あなたの町で出会うジュビロ

ジュビロをより身近に感じていただけるよう、地域の皆様のイベントに参加したり、スタジアムの外で楽しんだりできるようなイベントを開催しています。

ジュビロメモリアルマラソン

(特非) 磐田市スポーツ協会が主催となり、第25回目を迎えたジュビロ磐田メモリアルマラソン。コロナウイルスの影響を受け3年ぶりの開催でしたが、静岡県内外からランナーが集まり、磐田のまちを駆け抜けました。



磐田市役所市庁舎展示



法多山 風鈴まつり

袋井市・法多山にて開催中の「風鈴まつり」とコラボし、選手の願いや想いを綴った短冊をかけた風鈴を展示しました。



パブリックビューイング in 浜松まちなか



地域産業の振興

地産地消応援プロジェクト

遠州地域で生産されたモノを積極的に発信するため、地産地消のシンボルとなるロゴマークを作成。このロゴマークは、ジュビロ磐田が製造・販売する商品に地元の素材や特産品を利用していることを表現しています。遠州地域の魅力を県内外に発信するとともに、認知向上と利用拡大を図っていくことを目的としたものです。

デザインについて

緑色で静岡県の地図を表現し、サックスブルーで「遠州」をアピール



地産地消
応援プロジェクト

商品例



遠州ガーゼコットンブランケット



ジュビロ棒



ハンドタオル



片面ガーゼタオルハンカチ

学校教育関連

ふじのくに スポーツふれあいパスポート 親子招待企画

静岡県内Jリーグ所属の4クラブ合同企画として、県内の小学校に通う児童とその保護者の皆様を対象にホームゲームへの招待企画を実施しました。この企画は、静岡県民共済生活協同組合様のご協力と、静岡県教育委員会の後援により実現しました。



スタッフ学校訪問講演事業

静岡県西部地域の小中学校を中心にクラブスタッフが訪問し、サッカーに携わる仕事や知識、夢などについて語り、子どもたちが将来の夢や希望を抱く心を育む活動を行っています。



オリジナルクリアファイル贈呈

(株)遠州日石様、(株)スマートアグリカルチャー磐田様、電器堂(株)様、(資)窓ブランニング名古屋様のご協力により、磐田市内の小中学生にジュビロ磐田オリジナルクリアファイルを贈呈。イラストレーター・ホベイロ中島さんがデザインしたジュビロくん・ジュビィちゃんを使用しました。

静岡産業大学冠講座

静岡産業大学磐田キャンパスでジュビロのスタッフが講師をする冠講座。2004年に開講し、ホームゲームでは学生が企画したイベントを実施しています。



ジュビロキッズ配布

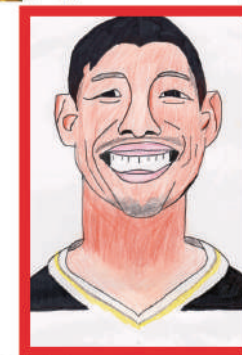
磐田市、浜松市、袋井市、森町の協力のもと、4市町の小学生全員に学校を通じてミニ新聞を配布。表紙の「君の心にエール」では、選手から夢に向かって頑張る子どもたちに向けたメッセージを掲載しています。



ジュビロ 似顔絵コンテスト

ジュビロ磐田ホームタウン推進協議会主催により毎年開催されています。グランプリ・準グランプリの方はホームゲーム時にスタジアムで表彰させていただきました。

2022 ジュビロ磐田 似顔絵コンテスト
グランプリ



名 倉 詩 乃 さん【モデル：大井健太郎選手】

磐田市／静岡県西部 小中学生招待

各市町教育委員会ご協力のもと、在学の小中学生・在勤の教職員の皆様をホームゲームに招待しました。また、磐田市協力のもと、磐田市小中学生招待を3試合実施しました。



スタジアム見学



職場体験



サッカーを通じた交流

行政、住民、観光、協会など、様々な方々と協働の場を作っています。

浜松デー

浜松の中山間地域の魅力発信をテーマに、『ドラゴンママ』による浜松市特産品販売ブースを設置。『ドラゴンママ』は、令和3年度浜松市市民活動表彰にて「浜松市長賞」を受賞した龍山の地域団体です。



磐田デー

磐田市内の全小学5・6年生が参加した一斉観戦事業と連動し、磐田デーを実施しました。ジュビロ広場では、磐田市のスポーツ施設紹介や静岡県立磐田西高等学校書道部の皆様からのメッセージが掲示されました。



灯台ワールドサミットin御前崎 開催記念マッチ

御前崎市キャンペーンレディーやマスコットキャラクターの「なみまる・ふうちゃん」が来場し、11月に開催を控えていた『灯台ワールドサミットin御前崎』をPRしました。



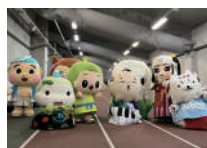
掛川×シュート!アニメ化記念マッチ

掛川高校がモデルとなったアニメ「シュート!」の放送開始を記念したイベントを開催。ハーフタイムには掛川市の高校生がシュート!のバナーを掲げてピッチを一周し、ジュビロ広場では、掛川茶などの特産品を販売しました。



市町マスコット25m対決

静岡県西部地域7市1町のマスコットキャラクターが集まり、ハーフタイムに25m競走を行いました。



地域イベントへの参加

みくりや 軽トラ市



天竜産業 観光まつり



浜松やらまいか 交流会2022



産業振興フェア in 磐田



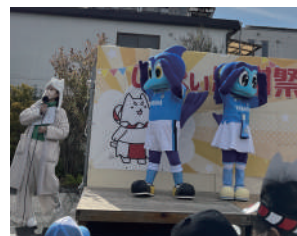
菊川 産業祭



御前崎 大産業まつり



みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市



中泉地区 ふれあいまつり



見附宿 たのしい文化展



※順不同 2023年3月1日現在

オフィシャルスポンサー



ヤマハ発動機(株)／サーラグループ／(株)静岡新聞社・静岡放送(株)／浜松ホトニクス(株)

オフィシャルサプライヤー



Admiral

Admiral

ユニフォームスポンサー

ヤマハ発動機(株)／サーラグループ／浜松ホトニクス(株)／サクラ工業(株)

スーツサプライヤー

SERENO

ゴールドメンバー

遠州鉄道(株)
浜松ホトニクス(株)

(株)コーシンサービス
三井住友海上火災保険(株)

(株)静岡新聞社
ヤマハ(株)

静岡放送(株)
ヤマハ発動機(株)

(株)静岡銀行

シルバーメンバー

石川建設(株)
JAバンク静岡
浜名梱包輸送(株)

(有)伊藤鋳金工業所
(株)静岡第一テレビ
ヤマハロボティクスホールディングス(株)

(株)SBSプロモーション
シダックスコントラクトフードサービス(株)

(株)大塚
大和証券(株)

(株)クレストック
野村證券(株)



株式会社ジュビロ

〒438-0025 静岡県磐田市新貝2500

<http://www.jubilo-iwata.co.jp>